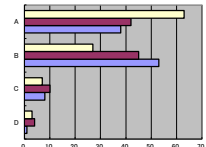
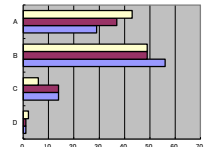
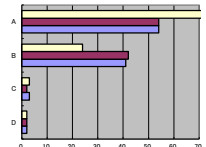
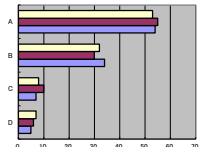
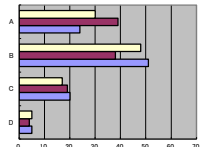
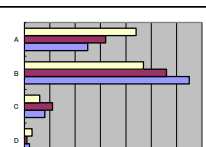
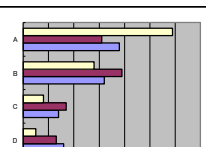
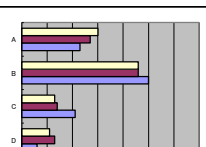
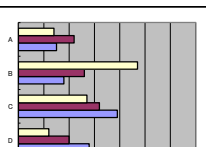

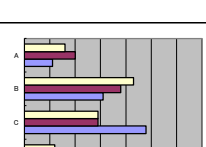
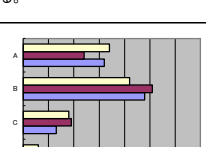
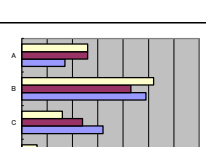

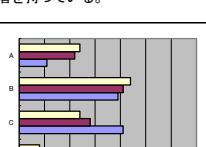
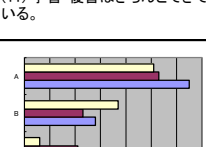




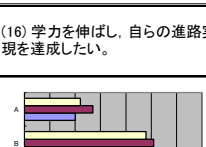
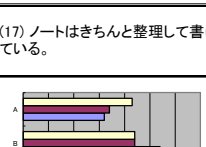
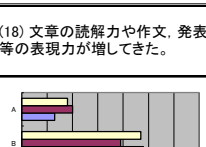
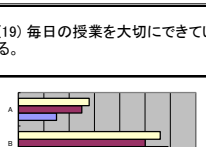
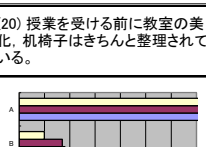
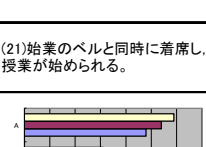
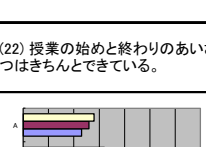
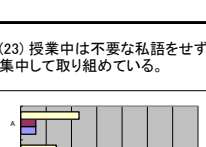
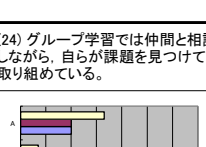
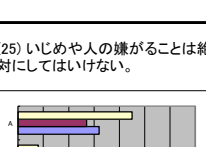
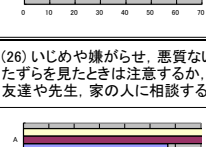


# 令和元年度 《生徒によるアンケート結果：7月期》

				
(1) 学校生活は全般的に楽しく過ごせている。	(2) 学校行事を前向きに取り組んでいる。	(3) 友達と仲良く過ごせている。	(4) 困ったことを相談できる友達がいる。	(5) 自らすすんであいさつができています。
				
(6) 学校のルールを守れている。	(7) 部活動は熱心に取り組んでいる。	(8) 先生には何でも相談できる。	(9) 地域の行事には積極的に参加している。	(10) 自分の住んでいる地域に愛着を持っている。
				
(11) 予習・復習はきちんとできている。	(12) 宿題はきちんと忘れずに提出できている。	(13) 興味や関心を持って授業にのぞめている。	(14) 分からなかった内容は授業後に質問する等、その日のうちに理解しようとしている。	(15) 週末課題・確認テスト・学習確認プログラムを有効に利用し、今後の学習に役立てている。
				
(16) 学力を伸ばし、自らの進路実現を達成したい。	(17) ノートはきちんと整理して書けている。	(18) 文章の読解力や作文、発表等の表現力が増してきた。	(19) 毎日の授業を大切にできている。	(20) 授業を受ける前に教室の美化、机椅子はきちんと整理されている。
				
(21) 始業のベルと同時に着席し、授業が始められる。	(22) 授業の始めと終わりのあいさはきちんとできている。	(23) 授業中は不要な私語をせず、集中して取り組んでいる。	(24) グループ学習では仲間と相談しながら、自らが課題を見つけて取り組んでいる。	(25) いじめや人の嫌がることは絶対にしてはいけない。
				
(26) いじめや嫌がらせ、悪質ないたずらを見たときは注意するか、友達や先生、家の人に相談する。	(27) クラスにはいじめを許さない雰囲気がある。	(28) ケータイまたはスマートフォンを持っているか？その使用頻度は一日どのくらいか？	(29) SNS (LINE・フェイスブック・ツイッター・TikTok・カカオトーク等) を閲覧することがある。	(30) SNS (LINE・フェイスブック・ツイッター・TikTok・カカオトーク等) に書き込むことがある。
	<p>生徒アンケートにおいては今年度から内容をさらにリニューアルした集計となった。設問(1)～(10):「生活全般」、(11)～(18):「学習」、(19)～(24):「授業中」、(25)～(27):「いじめ」、(28)～(31):SNSという大きく5つの項目についてアンケートを実施した。ABが多いほど良い傾向となる。「学校生活」編では昨年12月期同様「全般的に楽しく過ごせている」「行事を前向きに取り組んでいる」「友達と仲良く過ごせている」「困ったことを相談できる友達がいる」「ルールを守れている」といった設問で概ね高い評価となっている。一方、「地域行事への積極的な参加」「地域に愛着を持っている」という設問では相変わらず全体的にCD評価が多くなっている。この淀・淀南地域に住む一員としての誇りをもってもらえるよう働きかけていきたい。「学習」編では「予習・復習」「分からなかった内容の授業後の質問」「確認テストや確認Pの有効利用」については若干CDの割合が多くなっており、特に3年生のCDポイントが高くなっている。学力向上をしていく上では最も大事な部分であるので自学自習の習慣を養う必要がある。続いて「授業」編では「毎日の授業を大切にできている」のAB評価は高いが、「始業のベルと同時に着席し、授業が始められる」「不要な私語がない」「グループ学習で自ら課題を見つけて取り組む」といった設問では昨年度12月期よりやや減少傾向ではあるものの、CD評価が多くある。続いて「いじめ」編であるが、「いじめや人の嫌がることは絶対にしてはいけない」はほとんどの生徒がA評価となった。一人ひとりの人権を大切にするという意味では全員がAの評価になるようにこれからも取り組みたい。また「いじめや嫌がらせ、悪質ないたずらを見たときは注意するか、友達や先生、家の人に相談する」についても概ねAB評価である。そして「クラスにはいじめを許さない雰囲気がある」の設問ではいじめはいけなくはないと思いつつ、依然CD評価がやや多いのは意識と現実のギャップがある。さらに意識を高められるように今後も益々頑張っていく雰囲気作りを学校全体として取り組んでいきたい。最後に今回から初めて導入した「SNS」についてであるが、学年が上がることにケータイスマホを持っている生徒数は増える。2・3年生では実に9割以上の人が所有し、さらに一日に3H以上使用している3年生は6割近い。またSNSの閲覧・書き込みは多く、(31)で「嫌な思いをしたことがある」と回答したCDの人も3年生では4人に1人くらい存在する。SNSでの書き込みから嫌な思いをする人が世の中あつた中、トラブル防止やモラル指導は喫緊の課題である。今回初の調査であったが、一定の状況把握にも繋がったので今後の参考としたい。</p>			
※ グラフは各項目、上段:1年生、中段:2年生、下段:3年生。設問(28)A:持っていない B:1未満 C:1～3H未満 D:3H以上 (29)～(31) A:全くない B:めったにない C:たまにある D:よくある				